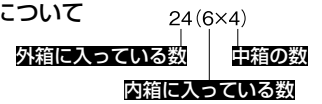


定流量弁 (汎用タイプ)

箱入数について



製品記号	TA							TB							TDH							TCH						
	呼び径	L	H	D	W	箱入数	単価	L	H	D	W	箱入数	単価	L	H	D	W	箱入数	単価	L	H	D	W	箱入数	単価			
13	1/2	37.0	26.0	—	0.09	32	3,710	40.0	26.0	—	0.09	32	3,710	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
15	1/2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	68.0	36.0	—	0.3	9	9,280	56.0	32.0	—	0.3	12	10,500			
20	3/4	37.0	32.0	—	0.13	18	5,800	40.0	32.0	—	0.13	21	5,800	72.0	36.0	—	0.6	9	10,700	59.0	36.0	—	0.3	9	14,000			
25	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	80.0	46.0	—	0.9	6	19,000	—	—	—	—	—	—			
本体材質	C3771B+Crメッキ							C3771+Crメッキ							C3771B							C3771+Crメッキ						
弁体材質	NBR							NBR							H-NBR (35、40φはNBR)							H-NBR						
最高許容圧力	水道水 (0~40℃) …0.98MPa 制御差圧: 0.049~0.2MPa							水道水 (0~40℃) …0.98MPa 制御差圧: 0.049~0.2MPa							冷温水 (0~80℃) …0.98MPa※ 35、40φは60℃以下の冷温水…0.98MPa 制御差圧: 0.049~0.49MPa 35、40φは0.049~0.2MPa							冷温水 (0~80℃) …0.98MPa※ 制御差圧: 0.049~0.49MPa						
備考	●平行めねじ×平行おねじ							●平行おねじ×平行めねじ							●テーパめねじ×ユニオンニップル							●テーパめねじ×テーパおねじ						

※特に高温で連続運転される場合には、水質によってゴムが短期間で劣化する場合があります。弊社営業にご相談いただくと同時に、定期点検をお勧めいたします。



製品記号	TGHN							TGHSN (銅管用)							TFN										
	呼び径	L	H	D	W	箱入数	単価	L	H	D	W	箱入数	単価	L	H	D	W	箱入数	単価	L	H	D	W	箱入数	単価
32	1 1/4	111.0	76.0	—	2.2	2	69,800	124.0	76.0	—	2.2	2	69,800	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
40	1 1/2	115.0	85.0	—	2.8	2	75,800	130.0	76.0	—	2.8	2	75,800	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
50	2	121.0	100.0	—	4.0	1	114,000	144.0	85.0	—	3.7	1	114,000	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
65	2 1/2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	220.0	204.0	—	19.6	1	156,000	—	—	—	—	—	—
80	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	240.0	240.0	—	26.8	1	193,000	—	—	—	—	—	—
100	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	260.0	270.0	—	35.5	1	257,000	—	—	—	—	—	—
本体材質	CAC406 / 鉛除去表面処理							CAC406 / 鉛除去表面処理							FC200 (ナイロン11)										
弁体材質	H-NBR							H-NBR							シリコン										
最高許容圧力	40℃以下の冷温水…0.98MPa 制御差圧: 0.049~0.49MPa							40℃以下の冷温水…0.98MPa 制御差圧: 0.049~0.49MPa							40℃以下の冷温水…0.98MPa 制御差圧: 0.098~0.69MPa										
備考	●テーパめねじ×テーパめねじ ●検査証印付は実費加算 ●日本水道協会基本基準認定品							●銅管接続型							●7.5Kフランジは別途お問い合わせください										

定流量弁 設定流量一覧表

形式	呼径	設定流量の種類 (ℓ/min)
TA	13	5、7.5、10、12.5、15
	20	5、7.5、10、12.5、15、17.5、20
TB	13	5、7.5、10、12.5、15
	20	5、7.5、10、12.5、15、17.5、20
TCH	15	2.5、3、3.5、5、7.5、10
	20	2.5、3.5、5、7.5、10、12.5、15、17.5、20、25、30
TDH	15	3、4、5、6、7.5、8、10、12、12.5、15、16、17.5、20
	20	3、4、5、6、7.5、8、10、12、12.5、15、16、17.5、20、25、30
	25	3、4、5、6、7.5、10、12.5、15、16、17.5、20、25、30、35、40
TGHN TGHSN	32	20~120 (10ℓ/min単位)
	40	20~120 (10ℓ/min単位)
	50	30~180 (10ℓ/min単位)
TFN	65	120~360 (10ℓ/min単位)
	80	120~490 (10ℓ/min単位)
	100	160~880 (10ℓ/min単位)

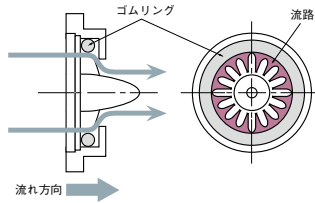
定流量弁

品 種 **バラサマーミニ《定流量弁》**

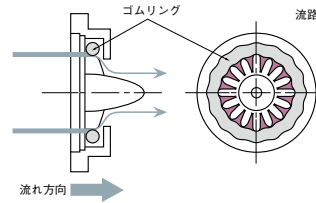
10K(ファンコイル用)



●差圧が小さいとき
 ゴムリング内径の変化が
 少ないため、流路面積が
 変化しません。



●差圧が大きいとき
 圧力によりゴムリングの内径が
 内側に狭められることにより、
 流路面積が減少し、流量が制
 限されます。



製品記号		BVSM						
呼び径		L	H	D	W	箱入数	単価	
15	1/2	88.0	72.0	40.0	0.3	10	7,240	
20	3/4	93.0	72.0	40.0	0.4	10	7,500	
25	1	104.0	76.0	40.0	0.6	5	14,600	
本体材質		CAC406						
弁体材質		PTFE/シリコン						
最高許容 圧力	60℃以下の冷温水…1.0MPa 制御差圧：0.15～0.49MPa							
備考	●テーパめねじ×ユニオンニップル ストレート形							

■仕様

制御差圧範囲	0.15～0.49MPa 5ℓ/min以上±20% 6ℓ/min以上±15%	使用温度範囲	0℃～+60℃
最高使用圧力	1.0MPa	検査圧力	ボデー耐圧(水圧):2.0MPa/シート漏れ(水圧):1.1MPa

■設定流量（許容差：±15%）

呼び径	単位：ℓ/min										
	5 (黄)	6 (水色)	7.5 (緑)	8 (白)	10 (黒)	12.5 (ピンク)	15 (パープル)	17.5 (青)	20 (緑)	25 (白)	30 (黄)
15A	●	●	●	●	●	●	●	●	—	—	—
20A	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
25A	—	—	—	—	—	—	—	—	—	●	●

※表中の●印は標準対応範囲とし、—印は対応範囲外を示します。

⚠ 使用上のご注意

■設計される前に

- バラサマーバルブの制御精度は、設定流量の±10%ですが、差圧0.08MPa以下での流量は、0～20%となります。制御差圧が0.049～0.49MPa以外では、設定流量の許容差を外れる場合があります。
- ご希望流量がカタログ表示の「設定流量」に該当しない場合は、一般的にはご希望流量よりプラス側の「設定流量」をお選びください。なお、選定にお迷いの場合は当社にご相談ください。
- ごみ、水垢づまりの予想される箇所にはハイテック形（ストレーナ内蔵形）をお勧めします。
- ポンプの設定ではバラサマーバルブの圧力損失（バルブ抵抗）を0.049MPaと考えて設計してください。
- 特に高温で連続運転される場合には、水質によってゴムが短期間で劣化する場合があります。弊社営業に御相談頂くと同時に1年毎の定期点検をお奨めいたします。

■施工される前に

- バラサマーバルブは、原則としてファンコイルユニットの入口側に取付け、出側にはレタン弁等を取付けてください。
- 本製品および内蔵のカートリッジには流れ方向がありますので、施工の際は取付け方向を確認してください。逆流するとウォーターハンマが発生致します。配管とファンコイルユニットの接続には充分ご注意ください。
- 取付けが完了した場合、バラサマーバルブは常に全開にしてご使用ください。
- 密閉回路には全流量のバランスをとるため必ずバイパスを適当な箇所に設けてください。特にファンコイルユニットにご使用の場合は、配管システムの状況や室内環境により騒音レベルが大きく影響されます。制御差圧(ΔP)を0.25MPa以下に設定し、バイパス弁等を使用して流速を落とすなどして調整してください。
- 配管内をよく清掃し、油分、チップ・スケール等を除去してください。
- 溶接・接続形の施工時には、加熱によってゴムオリフィスが破損する恐れがありますので必ずバルブ本体と、ニップル接続部を取外して施工するよう、特にご注意ください。